



玉幡小学校 学校だより 第23号

# チーム玉幡

平成31年 3月 7日(木)

校長 望月 和彦

## 心がポカポカとなった「6年生を送る会」

3月1日(金)、5年生中心の新児童会本部が企画した「6年生を送る会」を体育館で開催しました。昨



年度までは、卒業していく6年生に向けた行事であることから、保護者の皆様には学校としての正式な案内通知は出していませんでした。しかし、学年ごと子どもたちが6年生のために工夫を凝らした発表を行い、何よりも子どもたちの成長が感じられる内容であることや「開かれた学校づくり」を推進する観点からも、今年度は全家庭向けの案内文書も発送したところです。当日は昨年度を超える約120名のお家の方々の参観を得ながら会を実施することができました。

体育館の壁には1・2年生がつくった折り紙のチェーンと3年生がつくった星形、ハート形、花形など色紙が飾り付けられ、正面の壁には4年生がお花紙でつくった「6年生 ありがとう」の花文字看板、そしてステージには「やさしい6年生に感謝の気持ちをプレゼント」のテーマなどが飾られていました。飾り付けを担当したのは5年生です。素敵に飾り付けられた会場に6年生が入場し、送る会がスタートしました。

発表のトップバッターは4年生です。リコーダーで「世界の約束」を演奏した後、6年生の優しさを寸劇で表現し、最後は福祉の交流会でも歌った「お陽さまになって」を全員で歌いました。全校で一番少ない4年生ですが、1クラスで生活しているだけあって全員の心が一つになった発表でした。6年生の顔写真を貼ったお陽さまの飾りは、会の後6年生にプレゼントされたそうです。



2番手は初々しい1年生です。「いつのことだか思い出してごらん あんなこと こんなこと あったでしょ」と6年生に助けられた思い出を寸劇で表現しました。1年生がピンチになったとき、ステージ横のドラえもののポケットから本物の6年生が現れ、1年生を助けてくれました。最後は「ひまわりの約束」の合唱をプレゼントしました。可愛らしくて一年間の成長を感じる発表でした。



3番手は3年生です。3年生は委員会活動や児童会活動でお世話になった感謝の気持ちを呼びかけにして6年生に伝えました。その後、6人の応援リーダーの指揮のもと「がんばれ がんばれ 6年生! ありがとう ありがとう 6年生!」とエールを送りました。最後は「エーデルワイス」をリコーダー、鍵盤ハーモニカ、鉄琴、ピアノで合奏し、感謝を伝える替え歌も送りました。3年生の元気の良さややる気が伝わる発表でした。



4番手は2年生です。2年生は6年生を宇宙に招待し、たくさんの星の中から大きく輝く6年生の星を見つけます。「これからもっとがんばって、6年生星のようにきらきらかがやきたいです。」と6年生を手本にしてがんばることを誓い、今年度一番がんばって覚えたかけ算の7の段を6年生と一緒に暗唱しました。最後には「スマイル」の合唱を贈り、中学年になる決意を感じた発表でした。

送る側の“とり”を務めるのは5年生です。最初は6人の芸人が登校班

やなかよタイムの場面での6年生の活躍をコメディにして演じました。寸劇の最後には5年生全体で「U.S.A.」を踊り、会場は大盛り上がりでした。後半は、「マイバラード」の合唱と15種類の楽器を使った「風になりたい」の合奏です。卒業生への感謝の気持ちと「4月以降は私たちに任せてください」という気持ちが表れたすばらしい演奏でした。

そして、1年生から5年生までの発表のプレゼントを受け取った6年生が応えます。「ALWAYS～三丁目の夕日」を鍵盤ハーモニカ、リコーダー、キーボードを使って合奏してくれました。呼びかけでは1年生から5年生それぞれに「ありがとう」の気持ちを伝え、中学校生活への決意も聞かせてくれました。最後に「COSMOS」の合唱です。3学期に入ってから取り組んできた合唱は、6年生の素直さとチームワークで、とても高いレベルになっています。期待通り、下級生の手本となる立派な姿を見せてくれました。卒業式にどんな歌声を聞かせてくれるかさらに楽しみになりました。



6年生の発表の後は、プレゼント贈呈です。縦割り班ごとに6年生へのメッセージを書いた色紙と5年生が心を込めてつくった鉛筆立てを6年生にプレゼントしました。渡す係の1年生から照れながら嬉しそうに受け取っていた6年生の顔が印象的でした。

そして、プログラム最後は全校合唱「世界がひとつになるまで」。ひな壇の6年生とフロアの下級生が向き合い、玉小の子どもたちが心を一つにして歌う歌声は、言葉に表せないようなすばらしいものでした。心の中がポカポカッと温くなるのを感じたのは私だけではなかったと思います。

6年生を送る会の終了後には、その場で「児童会の引き継ぎ式」が行われました。福島児童会長をはじめとする旧児童会本部役員から、虎谷児童会長をはじめとする新児童会本部役員に「校名旗」が手渡されました。今回の6年生を送る会に象徴される玉小児童会の良き伝統と高い文化を新児童会もしっかりと受け継ぎ、さらに発展させてくれることを期待しています。



## 玉幡小が「口腔衛生優良学校」に！

本校は、子どもたちの虫歯をはじめとする歯科疾患の早期発見や早期治療並びに予防指導に取り組んできました。具体的には、歯科校医さんが全校児童の歯科検診を実施し、結果を本人や保護者に連絡するとともに、虫歯等があった場合は歯科医による早期治療を促しています。また、食後の歯磨きを徹底するために、1年生から4年生には養護教諭の上野先生や学級担任が資料を使って歯磨きの方法について指導したり、5年生には歯科衛生士さんに来校してもらい歯垢染め出しを使って磨き残しをなくす方法を指導していただいたりしました。6年生は「全国小学生はみがき大会」に参加して、歯の予防についての学習をしながら学年で歯磨きの実践に取り組みました。その他にも、保健委員会が、寸劇やクイズを盛り込みながら、虫歯の恐ろしさや予防法などを説明する保健集会を開いたり、ポスターや標語をつくって全校児童に呼びかけたりする取組なども行ってきました。家庭にも保健だよりで予防や治療を呼びかけたり、長期休業中に「歯磨きカレンダー」に取り組ませて、家庭での歯磨きの習慣化を推進したりしてきました。

こうした本校の取組が評価され、去る2月7日に県立文学館で行われた山梨県学校保健大会において、「口腔衛生優良学校」として山梨県歯科医師会会長表彰を受賞することができました。取組の成果で、歯磨きの習慣化や虫歯の治療は進んでいますが、治療していない虫歯のある児童がまだ39人います。(2月現在)「健康な体は健康な歯から」という言葉もあります。ご家庭の協力のもと早期の治療をお願いします。ちなみに本校児童の中で虫歯のない児童は89人いるそうです。私自身の苦い経験からも、子どもたちには良い歯を大切にしてほしいです



山梨県歯科医師会会長表彰の楯